

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1959
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.52, No.11 (1959. 11)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19591101--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田學會雜誌

慶應義塾経済学会
十一月号

<p>一九〇一—一九二三年のドイツ社会民主党史………正田庄次郎(三七)</p> <p>——Schorske, Berlanの二つの研究書より——</p> <p>書評及び紹介</p> <p>経済学関係文献目録</p>	<p>資料</p> <p>鉄鋼業生産函数の計測………岩田 暁一(一六)</p>	<p>論 說</p> <p>近世農政思想の一考察………島崎 隆夫(一一)</p> <p>—— 幽谷を継承した人々——</p>
---	---	--

第五十二卷 第十一号

昭和三十三年十一月二十四日
昭和三十三年十二月一日
昭和三十三年十二月十四日
昭和三十三年十二月二十二日
昭和三十三年十二月二十九日
第三種郵便物認可
毎月一、九〇三号

昭和三十三年十一月二十四日
昭和三十三年十二月一日
昭和三十三年十二月十四日
昭和三十三年十二月二十二日
昭和三十三年十二月二十九日
第三種郵便物認可
毎月一、九〇三号

三田学会雑誌

昭和三十四年十月号

定価 金九〇円 (送料別)

MITA GAKKAI ZASSHI (Mita Journal of Economics)

Vol. 52, No. 10

October, 1959

CONTENTS

Big Business in Our Age.....	page
Y. Aonuma (1)	
Estimation of the Constants and the Shift Parameters of the Income-Leisure Preference Field	K. Obi (16)
Documents and Materials of the History of German Working Class Movement (2)	
Der Kampf der deutschen Sozialdemokratie in der Zeit des Sozialistengesetzes 1878~1890—Die Tätigkeit der Reiches-commission—herausgegeben von Prof. Dr. Leo Stern, 1956.	K. Iida. (32)
A New England Town in the 17th Century Suffield, Mass.	K. Nakamura (48)
On Prof. Musgrave's 'Multiple Theory of Budget Determination'.....	S. Furuta (60)
William Godwin Bibliography	A. Shirai (71)
The Disputation of H. Dietzel and E. v. Böhm-Bawerk (2)	E. Mochimaru (81)
Reviews and Notes	

Published for
KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI
(The Keio Economic Society)
Editorial communications to be sent to
the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,
Keio-Gijuku University,
Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.
Price 90 yen

書評及び紹介

カール・ハイント・ライディヒカイト著
『ドイツ労働運動におけるウィルヘルム・リープクネヒトとアウグスト・ベーベル』……………飯田 鼎(五)

エリザベス・アイゼンスタイン著
『最初の職業的革命家、フィリップ・ミッシェル・ブオナロッティ——伝記的評論——』……………飯田 鼎(五)

平田隆夫著『社会保障』……………庭田 範秋(五)

ロジェ・ガロディ『疎外論』……………白井 厚(益)

K・K・クリハラ著『経済発展のケインズ理論』……………西野 義彦(充)

近世農政思想の一考察

——幽谷を継承した人々——

島崎 隆夫

近世農政思想の考察を試みつつあるわたくしは、三田学会雑誌第五十二巻第五号(昭和三十四年五月号)において、藤田幽谷(安永三年—文政九年・一七七四—一八二六)の「勸農或問」を中心に、安民論、丁巳封事、丁卯封事等に現われた幽谷の経済思想、とくに農政に関する諸献策の内容を検討した。そこで見出された幽谷の農政思想は幽谷が生存していた時代の国内的及び国際的諸事情を背景とし、直接には水戸藩の藩情に刺戟されつつ形成されたものであって、その持つ内容がいちじるしく農本主義的性格を示していた事実を指摘し、幽谷の思想の歴史的意義について、重要と思われる若干の点を考察して来た。すなわち、幽谷の経世策において論ぜられた主張は支那の儒学的経済学説および蕃山、徂徠等の著名なる先学儒者の経済学説にその根源と根拠をおき、それらの諸学説より多大の暗示と影響をうけて形成されたものであって、直接的には水戸義公

近世農政思想の一考察

以来の「水戸学」の「実学」的な思想的土壌により培われたものであった。幽谷の思想は水戸藩が直面していた財政経済上の諸問題の解決を直接の目標として生まれて来たものであり、水戸藩の農政刷新のための政策を樹立し、その実施を要請した幾つかの献策の中に表現され、とくに「勸農或問」の中に集中的にその内容を現わしている。すでに述べたごとく、幽谷の思想は、当時の儒者の常套的な思想と軌を一にした点が多く見られ、そのすべてが必ずしも彼の創見であったとはいえないが、しかし、そこには国内外の緊急事を前にして往々独自の見解や、時務に適切なる指摘を窺見しうるのである。

さて、われわれが幽谷の思想を検討した場合、幽谷が献策した種々なる経済政策、とくに「勸農或問」にあらわれている経済論策は、その根本において一国の農民経済を涵養し、財政を充実することにあって、「富国強兵」を強行せんとする意図によって貫かれていたものであり、それが終局において当時の対外交渉における「攘夷」の